

公益社団法人 日本金属学会
平成30年度事業計画書
平成30年3月1日から平成31年2月28日まで

I. 事業の計画

1. 基本方針

- ①平成30年度は、公益社団法人としての6年目の事業年度であり、引き続きセルフガバナンスに基づいて、公益目的事業を公正かつ適切に推進する。
- ②日本金属学会ビジョンの実現に向けた諸施策を推進する。
- ③刊行事業については、機関誌3誌の刊行を推進する。まてりあは、日本金属学会に加入し会員を継続したくなる学術・技術・情報を充実させるとともに、金属に関する情報が知りたいときに必ず手に取る情報誌であること実現させるために、記事構成の更新等の施策を推進する。日本金属学会誌は、日本語で書かれた最新知見の発信や高度な専門性のある提案・意見交流・学理追求の場として維持向上を図るために、積極的な投稿勧誘等の施策を推進する。Materials Transactionsは、日本の代表的な材料系英文論文誌となるよう高度化するとともに、インパクトファクターの向上を目指し、論文や査読の質向上等の施策を推進する。また、日本金属学会誌とMaterials Transactionsは、完全電子ジャーナル化を進める。学術図書類は、小中学生や高校生等の若者への啓発につなげることを目指し、理数探求科目の履修を支援するための図書類等の発行を推進する。
- ④講演会・講習会事業については、最新の研究や技術を発信し、多様かつ多くの研究者・技術者が集い交流する魅力ある講演大会を目指して、分野の再編や他学協会との連携企画等の施策を推進する。また、セミナー・シンポジウムの充実を推進するとともに、最新の研究や技術を学べ、次世代を担う人材の教育と育成にも貢献する魅力ある講習会を目指し、メニューの拡大や分野との連携強化等を推進する。
- ⑤調査・研究事業については、我が国の材料科学を先導していくことを目指し、分科の見直しや研究会の改革および大型プロジェクト設立に向けた議論を進める。材料、金属材料に興味を持つ若い世代を育てることを目指し、学校教育の支援や青少年向けイベントの開催、若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。国際学術交流は、従来より推進しているTMSおよびKIMとの交流等の推進に加えて、金属に関するアジアシンポジウムの開催を検討する。
- ⑥表彰・奨励事業については、材料科学の一層の発展を目指し、賞の重みや権威を高め、特に将来の更なる発展が期待できる若手を対象とした賞の拡充や周知活動の強化等を推進する。
- ⑦庶務については、引き続き法令等および本会の定めにより、公正かつ適切に行う。また、学会の活動を広く世間に周知するために、広報活動を推進する。
- ⑧会計については、引き続き最新の公益法人会計基準および公益認定等ガイドライン等に則り、公正かつ適切に行う。PRICM9の収益による平成28年度の余剰金の残額は、平成30年度の講演会・講習会事業で全て消費する。

2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第5条第1号)

(1) 日本金属学会会報「まてりあ」

- ①発行
 - ・第57巻3号～第58巻2号、毎月1日発行、各号発行部数5,700部、各号掲載頁数50～60頁
 - ・電子ジャーナルを毎号刊行する。
- ②巻頭記事(サイエンスライター記事)
 - 第57巻 8号 11号 第58巻 2号
- ③特集等
 - ・第57巻 4号 ミニ特集「Additive Manufacturing(付加製造)の医療応用への展開と現状」 5編程度
 - ・第57巻 7号 ミニ特集「ハイエントロピー合金の研究最前線」 5編程度
 - ・第57巻 9号 ミニ特集 第2分科委員担当 5編程度
 - ・第57巻 12号 ミニ特集 第3分科委員担当 5編程度
 - ・第58巻 1号, 2号 新技術・新製品特集 8編程度

④特記事項

- ・読み物記事の充実等のまてりあを魅力ある会報とするための施策を引き続き推進する。
- ・掲載後1年を経過した電子ジャーナルのフリーアクセスを継続する。

(2) 日本金属学会誌

①発行

- ・第82巻3号～第83巻2号、毎月1日発行、各号発行部数900部(83巻1号から250部)、各号掲載頁数60頁
- ・電子ジャーナルを毎号発行する。

②特集

- ・第82巻 4, 5号 特集「2017年秋期大会講演精選論文」 10編程度
- ・第82巻 10, 11号 特集「2018年春期大会講演精選論文」 10編程度

③特記事項

- ・オーバービュー、レビューの投稿勧誘を継続する。
- ・データ論文のカテゴリーの新設を検討し誌面の充実を図る。
- ・投稿・掲載料の無料化を継続し、論文の投稿勧誘を継続する。
- ・財政改善のため、電子ジャーナルの購読料有料化を検討する。
- ・平成27年11月に開始した早期公開を継続する。
- ・平成31年1号から完全オンライン・ジャーナル化を開始し、発行・発送費用を削減する。

(3) Materials Transactions

①発行

- ・Vol. 59 No. 3～Vol. 60 No. 2、毎月1日発行、各号発行部数500部(Vol. 60 No. 1から100部)、各号掲載頁数190頁
- ・電子ジャーナルを毎号発行する。

②特集

- ・Vol. 59 No. 4 特集「Advanced Structural Materials for Extremely High Temperature Applications in Future」 7編程度
- ・Vol. 59 No. 4 特集「Nanostructured Functional Materials and Their Applications II」 16編程度
- ・Vol. 59 No. 5 特集「Development of Materials Integration in Structural Materials for Innovation.」 5編程度
- ・Vol. 59 No. 4, 5 特集「Selected Papers from JIM Fall Meeting 2017」 10編程度
- ・Vol. 59 No. 6 特集「Growth of Ecomaterials as a Key to Eco-Society VI」 10編程度
- ・Vol. 59 No. 10, 11 特集「Selected Papers from JIM Spring Meeting 2018」 10編程度
- ・Vol. 60 No. 1 特集「New Casting Process and New Simulation Method for Casting」 5編程度

③特記事項

- ・掲載半年を経過した電子ジャーナルの個人研究目的に限定したフリーアクセスを継続する。
- ・インパクトファクター向上を目指した施策を推進する。
- ・データ論文のカテゴリーの新設を検討し、誌面の充実を図る。
- ・特集企画提案を積極的に勧誘し、実施する。
- ・Review、Overviewの投稿勧誘を継続する。
- ・著者選択フリーダウンロードサービス(投稿・掲載費用に3万円を追加することにより、公開後即フリーアクセスとするサービス)を開始する。
- ・平成31年1号から完全オンライン・ジャーナル化を開始し、発行・発送費用を削減する。
- ・Materials Transactions共同刊行編集委員会を開催する。(平成30年8月、東京)

(4) 学術図書類

- ①増刷 1冊
 - ・金属化学入門シリーズ 2,000部
- ②理数探求用教材を制作する。

3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第5条第2号)

(1) 講演大会

①春期(第162回)大会

- ・平成30年3月19日～21日、千葉工業大学新習志野キャンパス(千葉県習志野市)
 - a. 大会参加者数: 1,400人(予定)
 - b. 講演発表件数: 700件(予定)
 - c. 講演種別: 一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演、TMS Young Leader講演
 - d. 男女共同参画ランチョンミーティング
 - e. 金属組織写真賞作品展示
 - f. 付設展示会、ランチョンセミナー
 - g. 講演概要集DVD、1,500部、平成30年3月5日発行予定

②秋期(第163回)大会

- ・平成30年9月19日～21日、東北大学川内北キャンパス及び仙台国際センター(宮城県仙台市)
 - a. 大会参加者数: 1,500人(予定)
 - b. 講演発表件数: 900件(予定)
 - c. 講演種別: 一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演
 - d. 第16回World Materials Day Award展示
 - e. 付設展示会、ランチョンセミナー
 - f. 講演概要集DVD、1,600部、平成30年9月5日発行予定

③特記事項

- a. 講演大会活性化のための施策を推進する。
- b. セッションの見直しを行う。
- c. システムを利用したプログラム編成やポスター審査を継続する。

(2) セミナーおよびシンポジウム

①セミナー(3件)

- 1) 材料の力学特性向上を目指して—最近の実験・計算手法の進展に基づく本質的な理解—(5分科企画)
 - ・開催時期: 平成30年度上期開催、開催場所: 東京工業大学田町キャンパス
 - ・開催概要: 講演8件 有料参加者60名予定
 - ・テキスト: 80部印刷
- 2) 耐熱材料の高温腐食と酸化に関する最近のアプローチ(2分科企画)
 - ・開催時期: 平成30年下期開催、開催場所: 未定
 - ・開催概要: 講演6件 有料参加者50名予定
 - ・テキスト: 70部印刷

②セミナー(特別講座)(1件)

- 転位を知る—金属合金における強度・延性の担い手—
- ・開催時期: 平成30年下期開催、開催場所: 未定
- ・開催概要: 講演7件 有料参加者50名予定

(3) 支部講演会および講習会（他学協会等との共催を含む）

- ①北海道支部：6回
- ②東北支部：21回程度
- ③関東支部：3回
- ④東海支部：10回
- ⑤北陸信越支部：8回
- ⑥関西支部：6回
- ⑦中国四国支部：3回
- ⑧九州支部：6回

4. 学術に関する調査及び研究（定款第5条第3号）

(1) 研究会（継続9テーマ、新規2テーマ）

①継続テーマ

研究会番号	研究会名
70	プラストンに基づく変形現象研究会
72	水素化物に関わる次世代学術・応用展開研究会
73	水素誘起超多量空孔研究会
74	チタン製造プロセスと材料機能研究会
75	キンク研究会
76	高温変形の組織ダイナミクス研究会
77	高度超塑性形成研究会
78	触媒材料の金属学研究会
79	金属・無機・有機材料の結晶方位解析と応用技術研究会

②新規テーマ

研究会番号	研究会名
80	高エネルギー環境用材料評価研究会
81	材料機能特性のアーキテクチャー研究会

(2) 分科会

- ①第1分科, 第2分科, 第3分科, 第4分科, 第5分科, 第0分科で活動を実施
 - ・各分科の活動を活発化する。
- ④若手研究グループの活動を開始する。4グループ。
- ⑤第4回企業説明会：平成30年3月22日、千葉工業大学新習志野キャンパス（習志野市）

(3) 他の委員会活動

- ①企画委員会
 - ・学会の魅力向上及び会員増加に向けた運営課題の検討と施策を企画・推進する。
- ②セルフガバナンス委員会
 - ・コンプライアンス遵守を推進する。
- ③長期展望委員会
 - ・事務局に係る検討を行なう。
- ④戦略推進委員会
 - ・関連学協会との連携を推進する。
 - ・大型プロジェクト設立に向けた議論を進める。
- ⑤科研費委員会
 - ・科学研究費補助金に関する情報収集を継続する。
- ⑥人材育成委員会
 - ・学校教育の支援や青少年向けイベントの開催を推進する。

- ・若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。
- ⑦男女共同参画委員会
 - ・男女共同参画委員会（日本鉄鋼協会と合同）：平成30年3月、平成30年9月
 - ・男女共同参画ランチョンミーティング：平成30年3月春期講演大会時
 - ・女性会員の集い：平成30年9月秋期講演大会時
- ⑧国際学術交流委員会
 - ・TMS、KIM、IOMMMS等の海外学協会・団体との交流事業を推進する。
 - ・金属に関するアジアシンポジウムの開催を検討する。

(4) 支部研究会等活動

- ①東北支部：1回
- ②関東支部：1回
- ③東海支部：3回
- ④北陸信越支部：5回
- ⑤関西支部：15回
- ⑥中国四国支部：10回

(5) 支部見学会活動

- ①関東支部：1回
- ②関西支部：2回
- ③中国四国支部：1回

(6) 国内学協会連携活動

- ①日本学術会議
 - ・材料連合協議会に参加し、材料系学協会との情報交換を行なう。
- ②日本工学会
 - ・事務研究委員会に参加し、情報を収集する：6回。
- ③材料戦略委員会
 - ・関連学協会と共同で材料分野の理解活動を推進する
- ④技術者教育制度認定活動
 - ・JABEE（日本技術者教育認定機構）活動に協力する。
- ⑤全国大学材料関係教室協議会
 - ・オブザーバー参加する：2回（平成30年3月、9月）。
- ⑥男女共同参画活動
 - ・男女共同参画学協会連絡会活動へ参加する。
 - ・（一社）日本鉄鋼協会との合同男女共同参画委員会活動を推進する。

(7) 国際学協会連携活動

- ①IOMMMS(International Organization of Materials, Metals & Minerals Societies)
 - ・第16回World Materials Day(平成30年11月7日)に合わせて、World Materials Day Award Winnerを授賞する。
- ②大韓金属・材料学会(KIM:The Korean Institute of Metals and Materials)
 - ・代表を年次総会へ相互に派遣、招待する。
 - ・第19回KIM-JIMシンポジウムをKIM主催で平成30年10月のKIM秋期講演大会で開催する。
- ③TMS(The Minerals, Metals and Materials Society)
 - ・TMS2018春季講演大会へ本会代表を派遣する。
 - ・JIM/TMS Young Leader International Scholar Program交流を推進する。
平成30年3月にTMSから本会2018年春期講演大会に1名を受け入れる。
平成30年3月に本会からTMS2018春季講演大会に1名を派遣する。

5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第5条第4号)

(1) 名誉員推戴式

- ①名誉員推戴式 該当者なし

(2) 各賞贈呈

- ①第63回学会賞 平成30年3月19日 千葉工業大学新習志野キャンパス(習志野市)
②第16回学術貢献賞 平成30年9月19日 東北大学川内北キャンパス
③第59回技術賞 平成30年3月19日 千葉工業大学新習志野キャンパス(習志野市)
④第41回技術開発賞 平成30年9月19日 東北大学川内北キャンパス
⑤第68回金属組織写真賞 平成30年3月19日 千葉工業大学新習志野キャンパス(習志野市)
⑥第49回研究技術功労賞 平成30年3月19日 千葉工業大学新習志野キャンパス(習志野市)
⑦第76回功績賞 平成30年3月19日 千葉工業大学新習志野キャンパス(習志野市)
⑧第16回功労賞 平成30年9月19日 東北大学川内北キャンパス
⑨第28回奨励賞 平成30年9月19日 東北大学川内北キャンパス
⑩第57回谷川・ハリス賞 平成30年3月19日 千葉工業大学新習志野キャンパス(習志野市)
⑪第24回増本量賞 平成30年3月19日 千葉工業大学新習志野キャンパス(習志野市)
⑫第8回まてりあ賞 平成30年9月19日 東北大学川内北キャンパス
⑬第15回村上記念賞 平成30年9月19日 東北大学川内北キャンパス
⑭第15回村上奨励賞 平成30年9月19日 東北大学川内北キャンパス
⑮第66回論文賞 平成30年9月19日 東北大学川内北キャンパス
⑯第27回若手講演論文賞 平成30年3月19日 千葉工業大学新習志野キャンパス(習志野市)
⑰第28回若手講演論文賞 平成30年9月19日 東北大学川内北キャンパス
⑱第30回優秀ポスター賞 平成30年3月20日 千葉工業大学新習志野キャンパス(習志野市)
⑲第31回優秀ポスター賞 平成30年9月20日 東北大学川内北キャンパス(仙台市)
⑳第26回日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞 平成29年3月各大学卒業時実施。
㉑第16回World Materials Day Award 平成30年11月7日 各所属機関において贈賞

(3) フェロー認定式

- ①フェロー認定式 平成30年3月19日 千葉工業大学新習志野キャンパス(習志野市)

(4) 支部表彰事業

①北海道支部

- ・サマーセッション奨励賞 平成30年7月 北海道大学(札幌市) 受賞者3名
- ・冬季講演大会奨励賞 平成30年12月 室蘭工業大学(室蘭市) 受賞者3名

②関東支部

- ・ヤングメタラジストポスター賞 平成30年10月 (株)IHI横浜事業所(横浜市) 受賞者3名

③東海支部

- ・支部表彰(学生による材料フォーラム) 平成30年11月 場所未定 受賞者10名

④北陸信越支部

- ・支部功績賞 平成30年12月 信州大学(長野市) 受賞者1名
- ・優秀学生表彰 平成30年12月 信州大学(長野市) 受賞者5名

⑤中国四国支部

- ・支部長賞 平成30年12月 場所未定(岡山市) 受賞者1名
- ・優秀学生賞 平成30年12月 場所未定(岡山市) 受賞者5名

⑥九州支部

- ・支部長表彰(ポスター優秀発表者) 平成30年6月 北九州国際会議場(北九州市) 受賞者15名程度
- ・支部長表彰(優秀学生) 平成30年3月 新日鐵住金(株)八幡製鐵所 受賞者数未定

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第5条第5号)
 庶務の項に記載

II. 庶務の計画

1. 特記事項

- ①セルフガバナンスに基づき、規程類の見直しを継続する。
- ②広報活動を推進する。

2. 平成29年度事業に関わる諸会議および諸集会

(1) 本会単独事業

法定機関および任意の合議機関の諸会議	開催回数
社員総会(定時1回)	1
理事会	8
監事監査	2
会報編集委員会	6
会誌編集委員会	6
欧文誌編集委員会	6
学術図書類刊行委員会	1
講演大会委員会	2
講演大会企画委員会	2
本多記念講演委員会	1
セミナー・シンポジウム委員会	2
企画委員会	6
長期展望委員会	1
セルフガバナンス委員会	1
分科会委員会	2
分科会企画委員会	2
戦略推進委員会	1
科研費委員会	1
人材育成委員会	2
男女共同参画委員会	2
国際学術交流委員会	2
名誉員検討委員会	1
各種賞検討委員会	5
学会賞選考委員会	1
功績賞等各賞の選考委員会	20
支部会議	25

諸集会	開催回数
名誉員推戴式	1
各賞贈呈式	21
講演大会	2
シンポジウム	0
セミナー	3
研究会	11
企業説明会	1

(2) 他学協会等連携事業

諸 会 議	開催回数
Materials Transactions共同編集委員会	1
材料連合協議会	0
材料戦略委員会	1
材料戦略委員会企画委員会	1
男女共同参画合同委員会	2
男女共同参画学協会連絡会シンポジウム	1
奨学賞贈呈式	37
World Materials Day Award Winner授賞式	1
KIM/JIMシンポジウム	1

公益社団法人 日本金属学会
平成30年度収支予算書

平成30年3月1日から平成31年2月28日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	25,134,159	25,148,643	-14,484	
特定資産受取利息	25,134,159	25,148,643	-14,484	
退職給付引当資産	698,089	716,567	-18,478	
減価償却引当資産	817	573	244	
刊行事業資金	6,391,250	6,391,250	0	
刊行事業拡充賛助寄付資金	25,620	23,536	2,084	
講演会・講習会事業資金	5,991,625	5,991,625	0	
講演会・講習会事業拡充資金	4,166	2,500	1,666	
調査・研究事業資金	5,290,464	5,290,464	0	未経過償還差額40,464円含む
国際学術交流資金	1,734,000	1,734,000	0	
表彰・奨励事業資金	1,050,000	1,050,000	0	
学会賞資金	235,503	235,503	0	
研究技術功労賞資金	119,000	119,000	0	
奨励賞・奨学賞等資金	842,625	842,625	0	
谷川・ハリス賞資金	255,000	255,000	0	
増本量賞資金	595,000	595,000	0	
村上賞資金	1,901,000	1,901,000	0	指定正味財産1,901,000円を振替、未経過償還差額30,380円を含む
受取入金	90,000	90,000	0	
受取入金	90,000	90,000	0	
受取会費	67,450,000	68,204,000	-754,000	
正員受取会費	35,750,000	35,520,000	230,000	
学生員受取会費	3,040,000	4,500,000	-1,460,000	年会費値下げ
維持員受取会費	27,800,000	26,150,000	1,650,000	維持員増
外国会員受取会費	860,000	2,034,000	-1,174,000	会費の一部を購読費に計上
事業収益	96,703,953	98,091,853	-1,387,900	
刊行事業収益	56,767,153	58,780,753	-2,013,600	
会報購読費収益	2,325,750	1,749,350	576,400	機関購読増
会誌購読費収益	4,980,320	4,770,720	209,600	
欧文誌購読費収益	10,961,960	10,509,560	452,400	
会報別刷等収益	3,754,800	3,754,800	0	
会誌別刷・審査収益	2,556,000	2,568,000	-12,000	
欧文誌別刷・審査収益	22,500,000	25,740,000	-3,240,000	掲載数減
刊行事業広告収益	5,304,000	5,304,000	0	
講座・現代の金属学収益	2,111,496	2,111,496	0	
金属化学入門シリーズ収益	2,036,867	2,036,867	0	
単行本収益	235,960	235,960	0	
講演会・講習会事業収益	34,032,800	33,305,100	727,700	
講演大会参加費収益	16,791,500	14,601,000	2,190,500	参加費値上げ
講演概要集収益	8,811,500	9,099,500	-288,000	
講演大会懇親会参加費収益	861,000	861,000	0	
金属学会シンポジウム参加費収益	0	900,000	-900,000	シンポジウム減
金属学会シンポジウム予稿集収益	10,000	20,000	-10,000	
セミナー参加費収益	1,660,000	2,030,000	-370,000	
セミナーテキスト収益	30,000	150,000	-120,000	
講演会・講習会事業広告収益	3,178,800	3,363,600	-184,800	
支部講演会・講習会事業収益	2,200,000	1,800,000	400,000	
講演会・講習会事業委託収益	490,000	480,000	10,000	
調査・研究事業収益	2,880,000	3,360,000	-480,000	
調査・研究事業収益	2,880,000	3,360,000	-480,000	出前講義減
表彰・奨励事業収益	3,024,000	2,646,000	378,000	
審査・投稿料収益	3,024,000	2,646,000	378,000	
受取補助金等	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取負担金	1,500,000	100,000	1,400,000	
受取負担金	1,500,000	100,000	1,400,000	H28実績
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	399,375	1,003,275	-603,900	
受取利息	800	10,000	-9,200	
雑収益	398,275	988,275	-590,000	H28実績
支部受取利息・雑収益	300	5,000	-4,700	
経常収益計	191,277,487	192,637,771	-1,360,284	

科目	当年度	前年度予算額	増減	備考
(2) 経常費用				
事業費	176,012,446	175,298,291	714,155	
刊行事業費	91,471,313	91,648,171	-176,858	
給料手当	25,038,534	22,781,500	2,257,034	職員増
退職給付費用	2,231,679	2,321,262	-89,583	
福利厚生費	3,848,812	4,510,000	-661,188	H28実績
会報刊行費	27,082,763	24,889,387	2,193,376	ページ数増、ライター記事掲載
会誌刊行費	8,377,580	9,203,758	-826,178	掲載数減
欧文誌刊行費	16,703,045	25,748,264	-9,045,219	掲載数減
学術図書類刊行費	8,188,900	2,194,000	5,994,900	理数探求教材出版、デジタルアーカイブ作成
講演会・講習会事業費	53,022,307	53,364,264	-341,957	
給料手当	15,023,120	15,768,900	-745,780	臨時職員減
退職給付費用	1,339,007	1,392,757	-53,750	
福利厚生費	2,309,287	2,706,000	-396,713	
講演大会開催費	24,680,933	22,504,077	2,176,856	春期大会会場費増、イブニングイベント開催
講演大会懇親会費	1,820,000	1,670,000	150,000	
本多記念講演開催費	264,660	265,810	-1,150	
金属学会シンポジウム開催費	50,000	1,344,770	-1,294,770	開催数減
セミナー開催費	2,115,300	2,351,950	-236,650	経費減
国際会議開催費	0	0	0	
支部講演会・講習会開催費	5,420,000	5,360,000	60,000	
調査・研究事業費	20,772,603	18,632,451	2,140,152	
給料手当	2,503,853	2,278,150	225,703	
退職給付費用	223,168	232,126	-8,958	
福利厚生費	384,881	451,000	-66,119	
関連団体連携事業費	1,500	1,500	0	
日本工学会費	269,590	266,155	3,435	
材料戦略委員会費	862,500	370,000	492,500	委員会開催増
科研費委員会費	197,000	197,000	0	
人材育成委員会費	1,715,240	1,265,240	450,000	
男女共同参画委員会費	190,000	190,000	0	
分科会委員会費	5,518,826	6,464,535	-945,709	旅費減
研究会費	3,800,000	2,000,000	1,800,000	若手研究グループ、新研究会
企画委員会費	1,327,250	1,327,250	0	
セルフガバナンス委員会費	83,500	83,500	0	
国際学術交流委員会費	1,592,295	1,594,995	-2,700	
支部調査・研究事業費	2,103,000	1,911,000	192,000	
表彰・奨励事業費	10,746,223	11,653,405	-907,182	
給料手当	2,503,853	2,278,150	225,703	
退職給付費用	223,168	232,126	-8,958	
福利厚生費	384,881	451,000	-66,119	
名誉員費	201,000	201,000	0	
各種賞検討委員会費	1,876,231	2,041,159	-164,928	
学会賞費	904,110	904,110	0	
学術貢献賞費	26,500	26,500	0	
技術賞費	20,050	78,020	-57,970	
技術開発賞費	1,626,780	1,736,400	-109,620	
金属組織写真賞費	199,850	104,230	95,620	
研究技術功労賞費	323,550	494,100	-170,550	
功績賞費	21,800	255,080	-233,280	
功労賞費	20,050	20,050	0	
奨励賞・奨学賞等費	257,950	562,070	-304,120	
谷川・ハリス賞費	19,700	137,040	-117,340	
増本量賞費	419,700	419,700	0	
まてりあ賞	4,700	4,700	0	
村上賞費	1,380,750	1,380,750	0	
論文賞費	17,100	221,220	-204,120	
フェロー費	26,500	0	26,500	
支部表彰・奨励事業費	288,000	106,000	182,000	
管理費	19,073,746	17,196,519	1,877,227	
給料手当	5,007,707	4,556,300	451,407	職員増
退職給付費用	446,336	464,252	-17,916	
福利厚生費	769,762	902,000	-132,238	
会議費	825,000	825,000	0	
旅費交通費	2,750,000	3,000,000	-250,000	
通信運搬費	1,526,715	300,000	1,226,715	H28実績
減価償却費	251,868	260,000	-8,132	
消耗什器備品費	45,000	167,917	-122,917	
消耗品費	423,750	40,000	383,750	
修繕費	10,000	10,000	0	
印刷製本費	490,377	90,000	400,377	
光熱水料費	41,189	41,050	139	

賃借料	518,400	518,400	0
保険料	4,345	4,500	-155
諸謝金	126,000	150,000	-24,000
租税公課	3,291,000	3,300,000	-9,000
送金手数料	108,976	169,000	-60,024
支払負担金	78,685	8,400	70,285
システム管理費	338,933	477,700	-138,767
委託費	1,546,531	1,512,000	34,531
雑費	473,172	400,000	73,172
経常費用計	195,086,192	192,494,810	2,591,382
評価損益等調整前経常増減額	-3,808,705	142,961	-3,951,666
評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	-3,808,705	142,961	-3,951,666

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-3,808,705	142,961	-3,951,666
一般正味財産期首残高	1,002,799,999	1,009,022,615	-6,222,616
一般正味財産期末残高	998,991,294	1,009,165,576	-10,174,282
II. 指定正味財産増減の部			
特定資産受取利息	1,901,000	1,901,000	0
未経過償還差額金の償却額	30,380	30,380	0
刊行事業拡充賛助寄付金	100,000	100,000	0
一般正味財産への振替額	1,901,000	1,901,000	0
当期指定正味財産増減額	130,380	130,380	0
指定正味財産期首残高	446,332,786	430,352,406	15,980,380
指定正味財産期末残高	446,463,166	430,482,786	15,980,380
III. 正味財産期末残高	1,445,454,460	1,439,648,362	5,806,098

(注) 1. 小科目の対前年度予算額比30%超かつ50万円超の増減の理由および補足説明を備考欄に記載した。

2. 人件費の配賦率は、刊行事業50%、講演会・講習会事業30%、調査・研究事業5%、表彰・奨励事業5%、法人会計10%としている。

平成30年度収支予算書内訳表

平成30年3月1日から平成31年2月28日まで

(単位：円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計			法 人 会 計	内 部 取 引 消 去 合 計				
	刊 行 事 業	講 演 会 ・ 講 習 会 事 業	調 査 ・ 研 究 事 業 ・ 表 彰 ・ 奨 励 事 業 共 通 小 計						
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	6,416,870	5,995,791	7,024,464	4,998,128	629,016	25,064,269	69,890	0	25,134,159
特定資産受取利息	6,416,870	5,995,791	7,024,464	4,998,128	629,016	25,064,269	69,890	0	25,134,159
受取入会金	0	0	0	90,000	0	90,000	0	0	90,000
受取入会金	0	0	0	90,000	0	90,000	0	0	90,000
受取会費	0	0	0	0	33,725,000	33,725,000	33,725,000	0	67,450,000
正員受取会費	0	0	0	0	17,875,000	17,875,000	17,875,000	0	35,750,000
学生員受取会費	0	0	0	0	1,520,000	1,520,000	1,520,000	0	3,040,000
維持員受取会費	0	0	0	0	13,900,000	13,900,000	13,900,000	0	27,800,000
外国会員受取会費	0	0	0	0	430,000	430,000	430,000	0	860,000
事業収益	56,767,153	34,032,800	2,880,000	3,024,000	0	96,703,953	0	0	96,703,953
刊行事業収益	56,767,153	0	0	0	0	56,767,153	0	0	56,767,153
講演会・講習会事業収益	0	34,032,800	0	0	0	34,032,800	0	0	34,032,800
調査・研究事業収益	0	0	2,880,000	0	0	2,880,000	0	0	2,880,000
表彰・奨励事業収益	0	0	0	3,024,000	0	3,024,000	0	0	3,024,000
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	1,500,000	0	0	0	1,500,000	0	0	1,500,000
受取負担金	0	1,500,000	0	0	0	1,500,000	0	0	1,500,000
雑収益	0	0	0	0	399,375	399,375	0	0	399,375
受取利息	0	0	0	0	800	800	0	0	800
雑収益	0	0	0	0	398,275	398,275	0	0	398,275
支部受取利息・雑収益	0	0	0	0	300	300	0	0	300
経常収益計	63,184,023	41,528,591	9,904,464	8,112,128	34,753,391	157,482,597	33,794,890	0	191,277,487
(2) 経常費用									
事業費	91,471,313	53,022,307	20,772,603	10,746,223	0	176,012,446	0	0	176,012,446
給料手当	25,038,534	15,023,120	2,503,853	2,503,853	0	45,069,360	0	0	45,069,360
臨時雇賃金	0	1,555,000	187,000	4,000	0	1,746,000	0	0	1,746,000
退職給付費用	2,231,679	1,339,007	223,168	223,168	0	4,017,022	0	0	4,017,022
福利厚生費	3,848,812	2,309,287	384,881	384,881	0	6,927,861	0	0	6,927,861
会議費	252,600	13,247,700	3,219,585	190,425	0	16,910,310	0	0	16,910,310
旅費交通費	2,656,000	3,585,500	9,861,750	1,836,250	0	17,939,500	0	0	17,939,500
通信運搬費	8,065,000	1,297,000	229,000	97,000	0	9,688,000	0	0	9,688,000
減価償却費	1,259,340	755,604	125,934	125,934	0	2,266,812	0	0	2,266,812
消耗什器備品費	225,000	135,000	22,500	22,500	0	405,000	0	0	405,000
消耗品費	564,000	261,000	430,000	17,000	0	1,272,000	0	0	1,272,000
修繕費	50,000	30,000	5,000	5,000	0	90,000	0	0	90,000
印刷製本費	39,775,960	6,629,760	873,420	1,571,560	0	48,850,700	0	0	48,850,700

科 目	公 益 目 的 事 業 表 彰・研究事業調査・講習会事業					法 人 会 計	内 部 取 引 消 去 合 計
	刊 行 事 業 講 演 会・講 習 会 事 業 調 査・研 究 事 業 表 彰・奨 励 事 業 共 通 小 計	業 務 表 彰・研 究 事 業 調 査・研 究 事 業 表 彰・奨 励 事 業 共 通 小 計	業 務 表 彰・研 究 事 業 調 査・研 究 事 業 表 彰・奨 励 事 業 共 通 小 計	業 務 表 彰・研 究 事 業 調 査・研 究 事 業 表 彰・奨 励 事 業 共 通 小 計	業 務 表 彰・研 究 事 業 調 査・研 究 事 業 表 彰・奨 励 事 業 共 通 小 計		
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	28,287,290	10,908,603	2,634,095	-41,829,988	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	-11,493,716	40,464	-7,076,597	-18,529,849	14,721,144	-3,808,705
一般正味財産期首残高	305,000,000	320,863,233	269,756,798	22,464,837	978,084,868	24,715,131	1,002,799,999
一般正味財産期末残高	305,000,000	309,369,517	269,797,262	15,388,240	959,555,019	39,436,275	998,991,294
II 指定正味財産増減の部							
特定資産受取利息	0	0	1,901,000	0	1,901,000	0	1,901,000
未経過償還差額金の償却額	0	0	30,380	0	30,380	0	30,380
刊行事業拡充賛助寄付金	100,000	0	0	0	100,000	0	100,000
一般正味財産への振替額	0	0	1,901,000	0	1,901,000	0	1,901,000
当期指定正味財産増減額	100,000	0	30,380	0	130,380	0	130,380
指定正味財産期首残高	128,000,000	102,000,000	216,332,786	0	446,332,786	0	446,332,786
指定正味財産期末残高	128,100,000	102,000,000	216,363,166	0	446,463,166	0	446,463,166
III 正味財産期末残高	433,100,000	309,369,517	371,797,262	15,388,240	1,406,018,185	39,436,275	1,445,454,460